

APEC 女性リーダーズネットワーク 1996 - 2010

アンドリーナ・G・リーバ
リーバ・エンタープライズ社長、
WLN共同創設者・元共同議長、
元カナダABACメンバー

目的

- 「APECの決定や政策策定プロセスにおいて、女性の関心や強い希望が反映され、女性の関与が確保されるための方法を模索し、戦略を構築すること」

具体的には:

- アジア太平洋地域における女性の地位向上のための地域の協力関係を築く
- 人材育成及び地域の持続的成長と公正な発展の追及において、男女共同参画の視点が組み込まれるような枠組みを構築する



具体的には:

- パートナーとして活動し、APECの男女共同参画の特徴を特定する際にその専門性を活用できる専門家の集まりを組織する
- APECとその仕組み、そして政策介入のためにいかにその仕組みを最大限に生かすか、を参加者に知ってもらう

WLN開催エコノミー

- 1997 – カナダ, 1998 – マレーシア
- 1999 – ニュージーランド, 2000 – ブルネイ
- 2001 – 中国, 2002 – メキシコ
- 2003 – タイ, 2004 – チリ
- 2005 – 韓国, 2006 – ベトナム
- 2007 – オーストラリア, 2008 – ペルー
- 2009 – シンガポール, 2010 – 日本



今後のWLN開催エコノミー

- 2011 – アメリカ
- 2012 – ロシア
- 2013 – インドネシア



仕組み

- マルチ・セクターアプローチ
- ハイレベルのコミットメント
- 開催エコノミーのコミットメント
- APEC事務局の役割
- WLN参加者の継続的なコミットメント



これまでの成果!

- APEC首脳の支援により始動
- 意識づくり
- 15年間にわたる会合
- 2回の女性問題担当大臣会合
- ジェンダー統合に関するアドホック・アドバイザリー・グループ (AGGI)

さらなる成果！

- ジェンダー研修／男女共同参画担当者ネットワーク(GFPN)
- アジア太平洋女性情報ネットワークセンター(APWINC)
- OECDにおいてベスト・プラクティスとして認識
- 大臣たちへのアクセス
- 7000人以上の女性の参加と教育



さらなる成果!

- 先住民女性の輸出ビジネスセミナー(1999年)
- 「先住民女性によるユニークな貢献」の認識(1999年、ニュージーランド)
- 中小企業作業部会(SMEWG)内に零細企業サブ作業部会(MESWG)を設置
- 零細企業開発プロジェクト

女性の経済貢献の認識

- 経済成長は女性の活躍によって達成されるのです。中国でもインドでもインターネットでもありません。

(エコノミスト, 2006年4月)

- 女性の経済活動の機会を拡大するビジネス・ケース、それはスマート・エコノミクス。

(世界銀行グループ、2006年9月)



前進

- 日本会合のテーマ:

「女性による新たな経済活動の創造
一人・自然・文化を活かす」



ご清聴ありがとうございます。

これからパネル・ディスカッション
に移ります。

